参考資料４

（出典元）2026年9月18日開催
第144回運営委員会資料6

保険財政に関する重要指標の動向

「もしも」と「いつも」に安心を。
協会けんぽ

令和８年９月18日
全国健康保険協会

目次

○　関連する主な経済指標　・・・　Ｐ３

○　協会けんぽにおける被保険者1人当たり標準報酬月額の実績　・・・　Ｐ５

○　協会けんぽの加入者１人当たり医療給付費と対前年同月比伸び率の推移　・・・　Ｐ６

○　協会けんぽの適用状況　・・・　Ｐ７

○　協会けんぽの医療費の動向　・・・　Ｐ10

○　ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）　・・・　Ｐ14

○　マイナ保険証の利用状況　・・・　Ｐ16

○　協会けんぽの人間ドックの状況について　・・・　Ｐ18

○　電子申請の状況について　・・・　Ｐ19

○　けんぽアプリについて　・・・　Ｐ20

○　関連する主な経済指標

●毎月勤労統計調査（厚労省）　2026 年７月 24 日発表

2026 年５月分（確報）

○きまって支給する給与（基本給、時間外給与等）

常用雇用労働者数 5～29 人の事業所、一般労働者**（2020（令和 2）年の平均＝100）**

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
2022（令和4）	100.0	100.5	101.4	101.9	100.7	101.6	101.6	101.3	101.7	102.4	102.8	102.4
2023（令和5）	101.1	101.7	102.7	103.8	102.6	103.2	103.3	102.4	103.2	104.0	104.0	103.8
2024（令和6）	103.2	103.7	104.5	105.7	104.5	105.5	104.9	104.3	105.0	105.5	105.6	105.7
2025（令和7）	104.8	105.0	105.5	107.6	106.2	107.2	107.6	106.1	107.1	107.9	108.1	108.3
2026（令和8）	108.6 (+3.6)	108.5 (+3.3)	109.3 (+3.6)	111.0 (+3.2)	109.6 (+3.2)							

※2026（令和 8）の()内は前年同月比

●日銀短観（2026 年６月分 業況判断ＤＩ）　2026 年７月１日発表

＜中小企業＞（「良い」－「悪い」・%）

	2025/3 月 →	2025/6 月 →	2025/9 月 →	2025/12 月 →	2026/3 月 →	2026/6 月	先行き（2026/9 月まで予測）
製造業	2	1	1	6	7	9	2
非製造業	16	15	14	15	16	15	8
＜大企業＞							
製造業	12	13	14	15	17	22	17
非製造業	35	34	34	34	36	37	28

※企業経営者に、経営状態が「良い」「さほど良くない」「悪い」の選択肢から一つ選んでもらい、「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」と答えた企業の割合を引く。この数字の変化で、経営者の景気判断の変化を把握する。

協会けんぽ

○　関連する主な経済指標

●月例経済報告（内閣府）　2026 年７月 29 日発表

総論

景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。

雇用情勢

賃金をみると、定期給与及び現金給与総額は、増加している。
雇用情勢は、改善の動きがみられる。
先行きについては、改善していくことが期待される。

●景気動向指数（内閣府）　2026 年７月 27 日発表

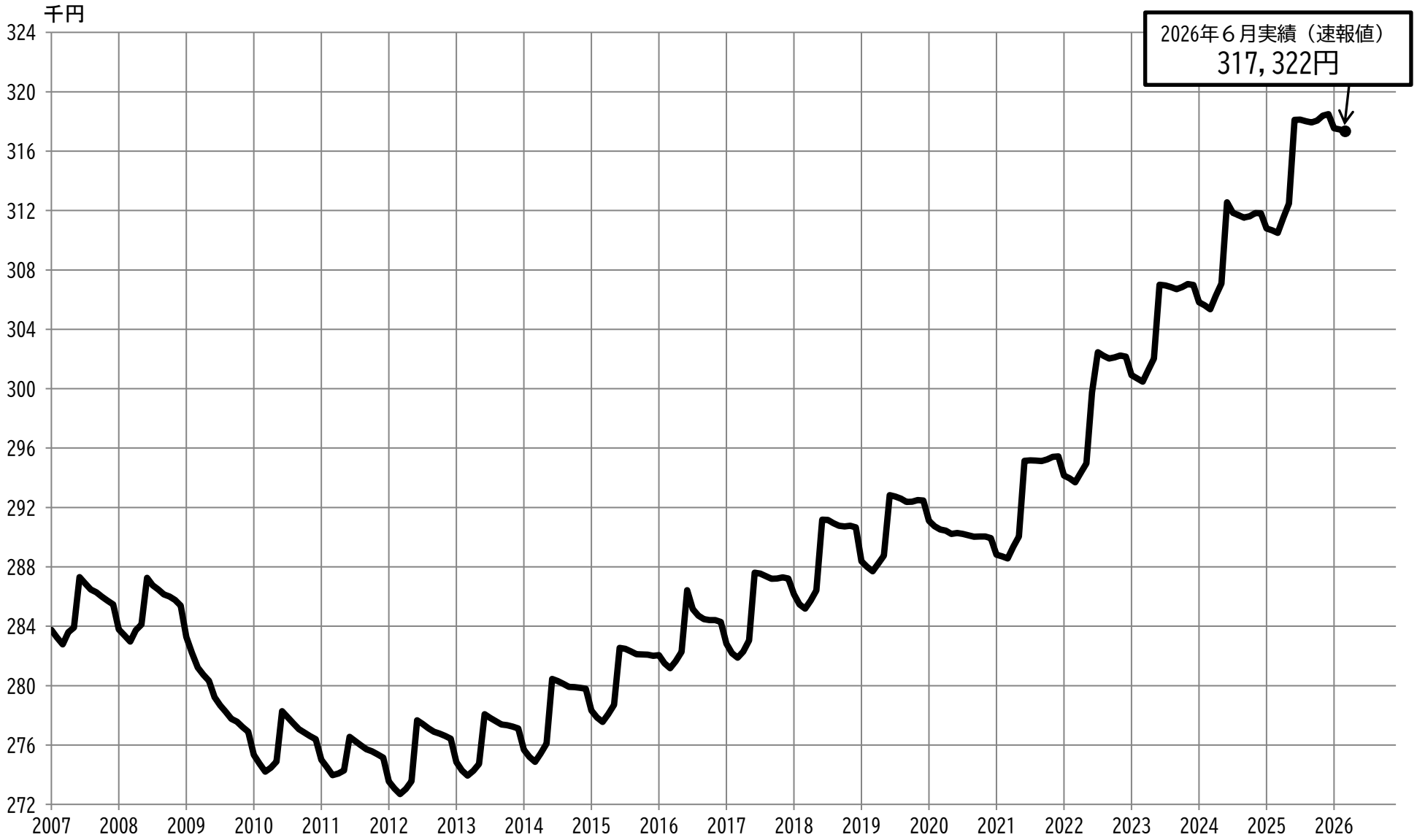
2026 年５月分（改訂）

一致指数：前月比 0.2 ポイント下降し、３か月ぶりの下降。基調判断は「改善を示している」
先行指数：前月比 0.4 ポイント上昇し、13 か月連続の上昇。
遅行指数：前月比 0.2 ポイント下降し、２か月ぶりの下降。

※景気の現状把握及び将来予測に資するため、景気に敏感に反応する各種の経済指標を統合して作成。

協会けんぽ

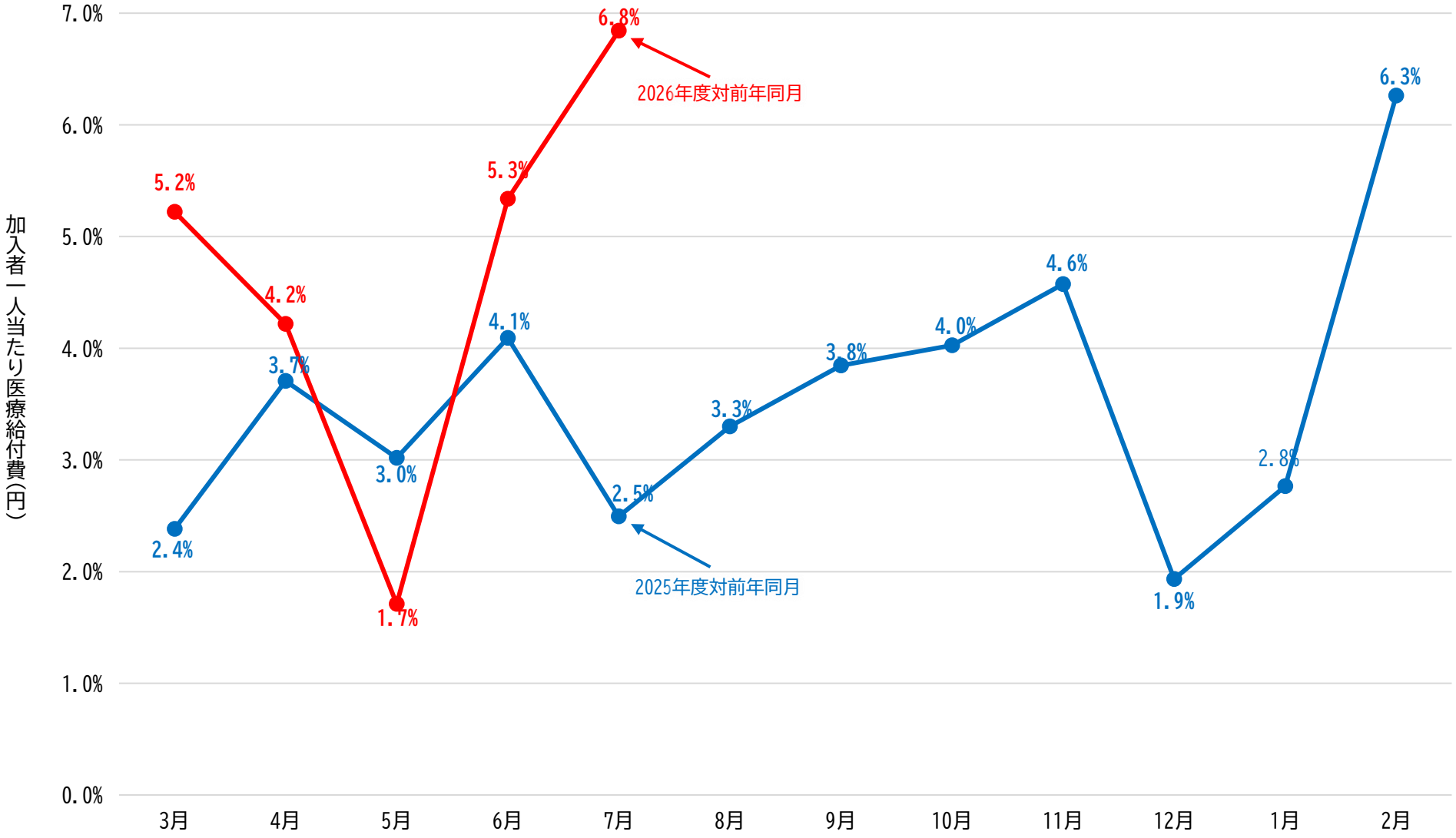
○　協会けんぽにおける被保険者1人当たり標準報酬月額の実績



協会けんぽ

○　協会けんぽの加入者１人当たり医療給付費の対前年同月伸び率の推移

2026年７月の加入者１人当たり医療給付費は、対前年同期＋6.8%（稼働日数補正後）となっている。



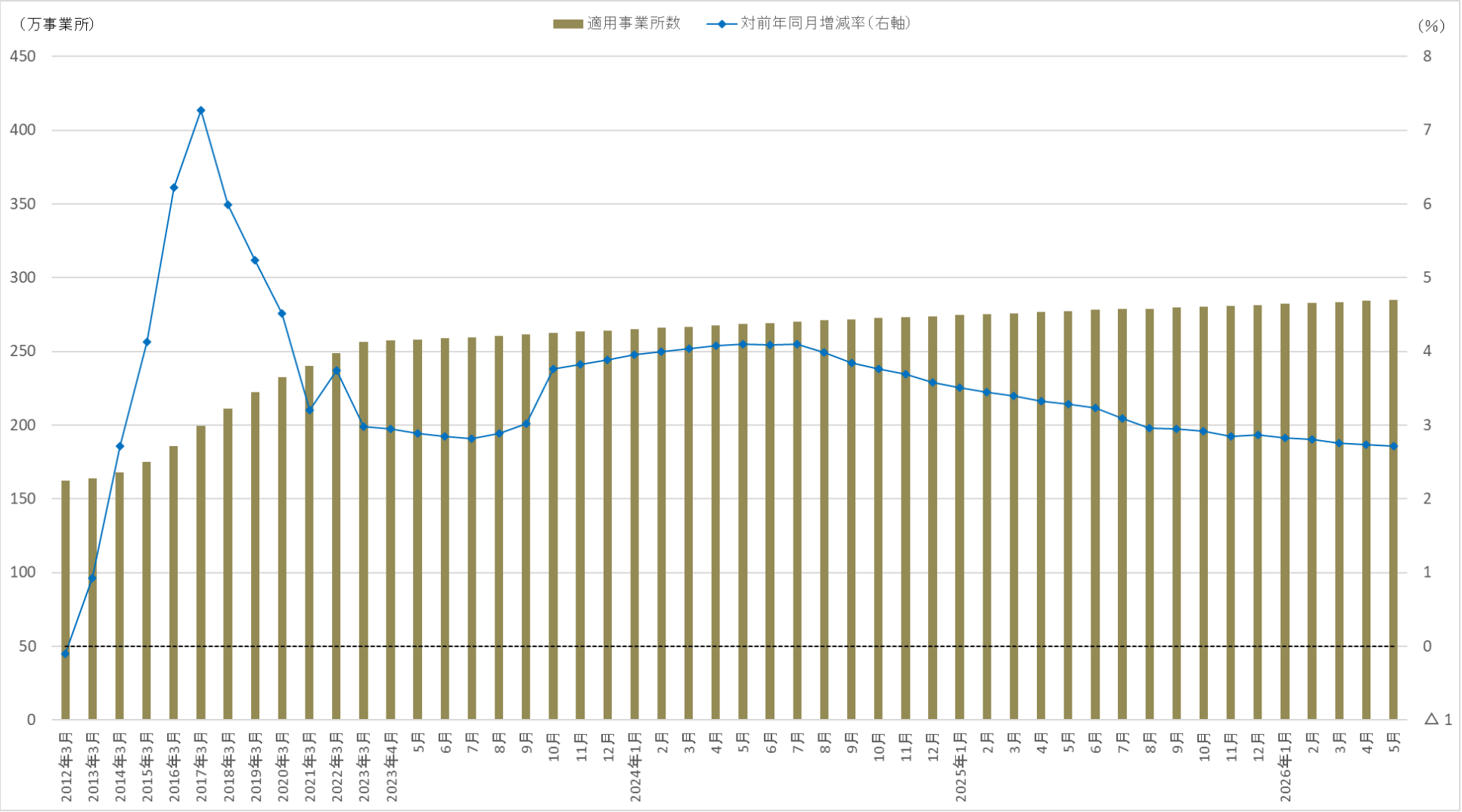
※ 伸び率は稼働日数補正後である。

協会けんぽ

○　協会けんぽの適用状況

①　適用事業所数

・　2026年５月末の適用事業所数は 285万事業所で、対前年同月増減率は 2.7%

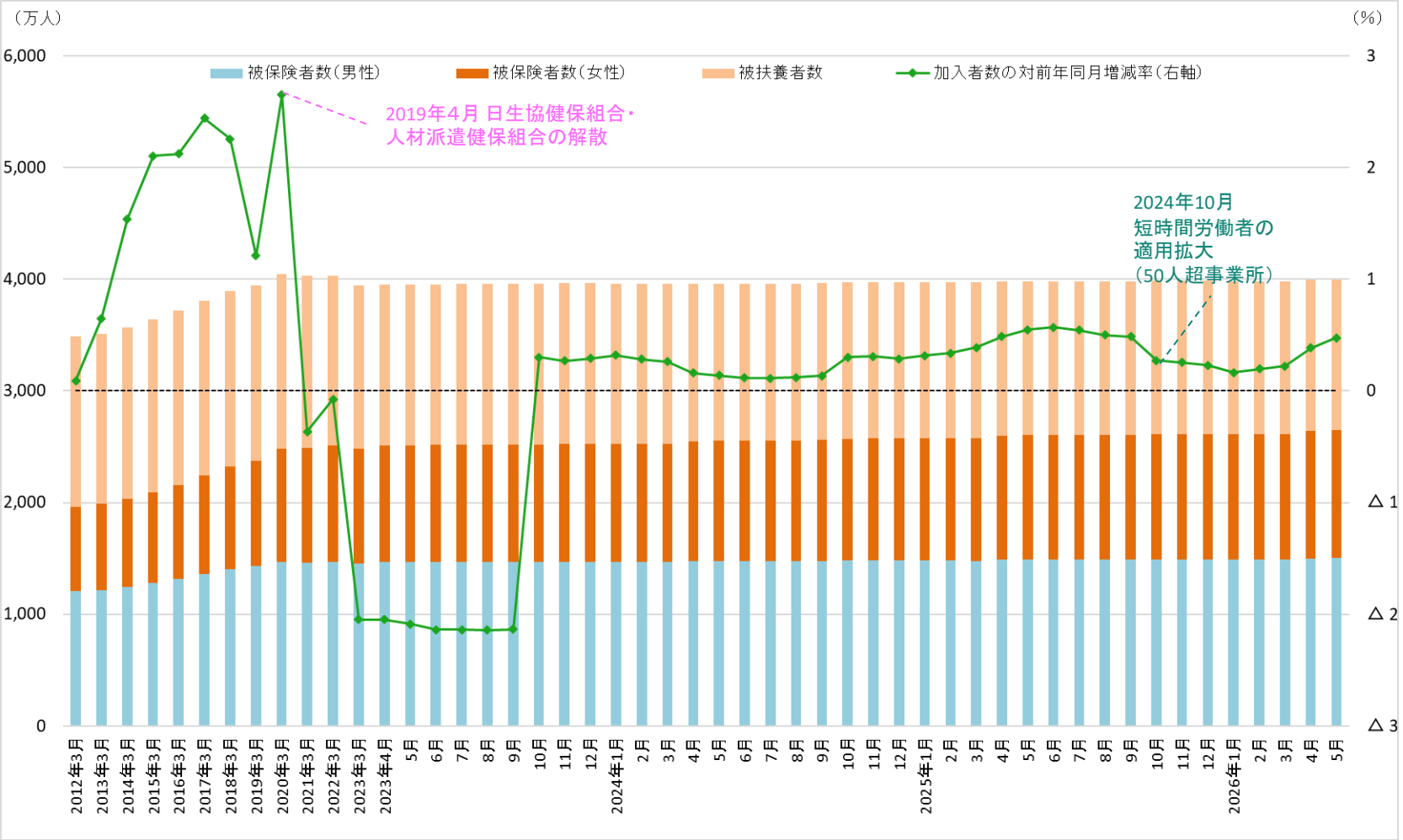


協会けんぽ

○　協会けんぽの適用状況

②　加入者数

- 2026年５月末の加入者数は　3,997 万人で、対前年同月増減率は　0.5% 国民の約3人に1人が協会けんぽの加入者
- 2026年５月末の被保険者数は 2,648 万人で、対前年同月増減率は　1.7%
- 2026年５月末の被扶養者数は 1,350 万人で、対前年同月増減率は △1.9% 扶養率は前年同月の 0.529 から 0.510 に減少

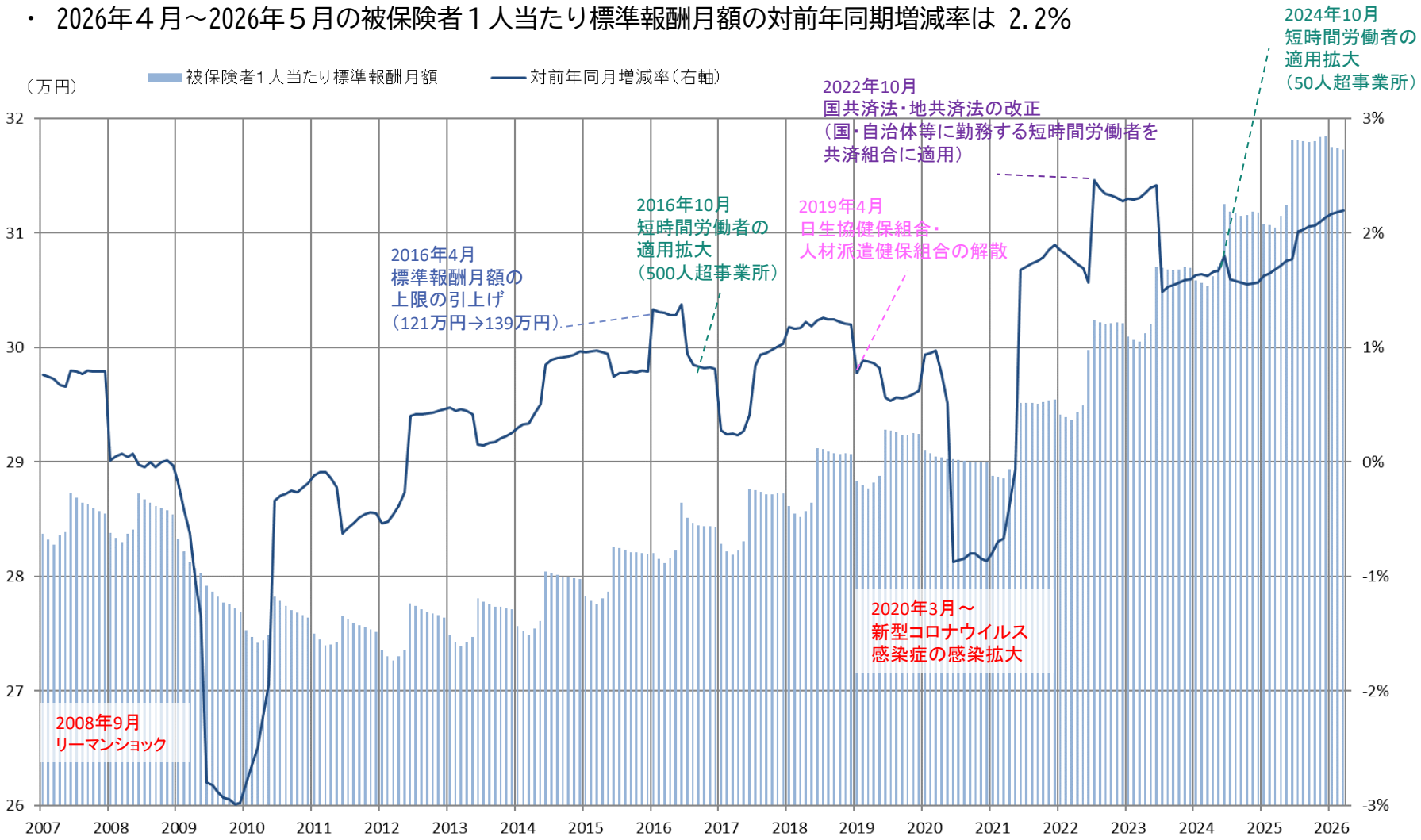


協会けんぽ

○　協会けんぽの適用状況

③　被保険者１人当たり標準報酬月額

・ 2026年５月の被保険者１人当たり標準報酬月額は 317,460円で、対前年同月増減率は2.2%
・ 2026年４月～2026年５月の被保険者１人当たり標準報酬月額の対前年同期増減率は 2.2%

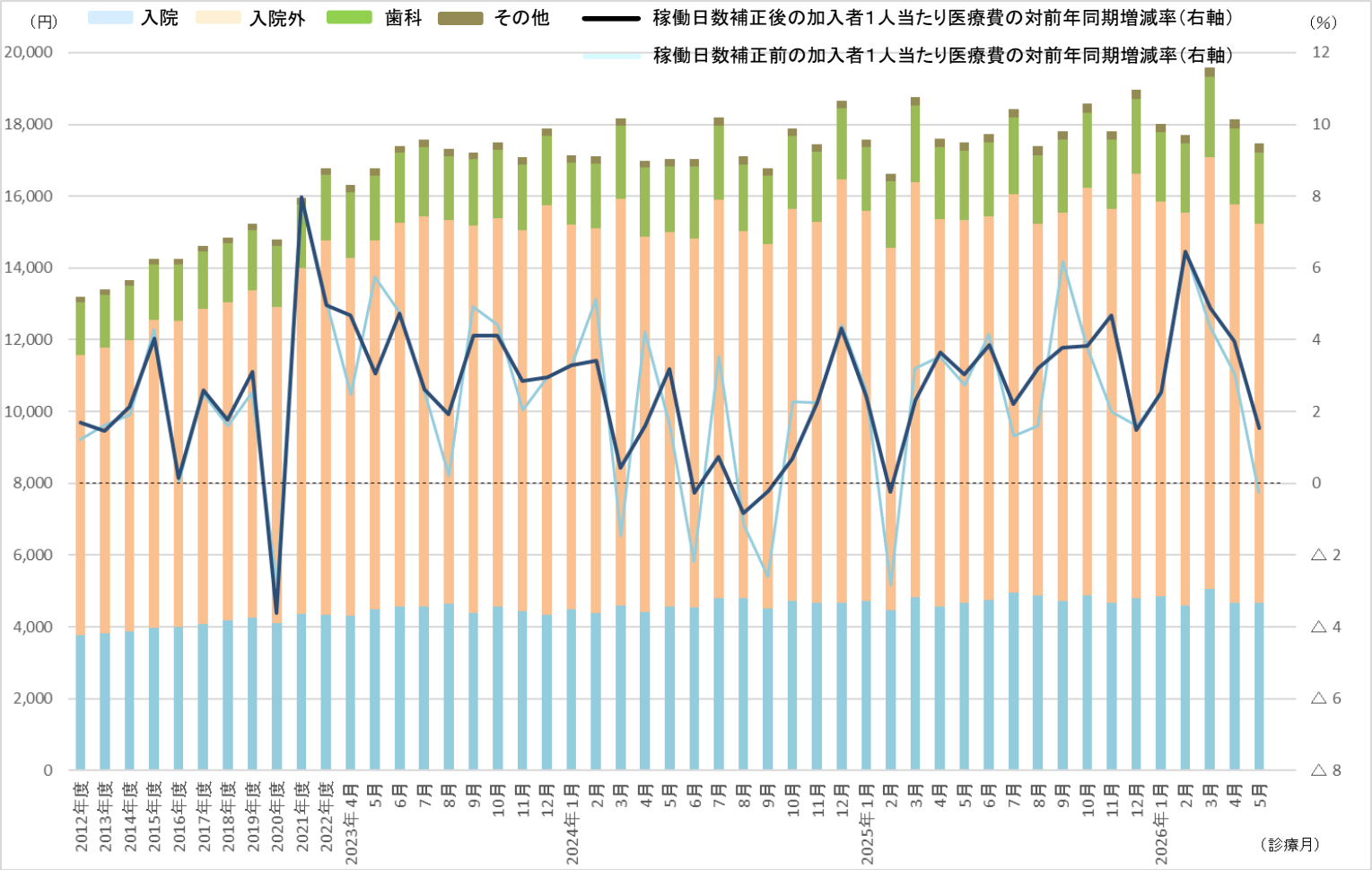


協会けんぽ

○　協会けんぽの医療費の動向

①　加入者１人当たり医療費

- 2026年５月診療分の１人当たり医療費は 17,464円で、稼働日数補正後の対前年同月増減率は 1.5%
- 2026年４月～2026年５月の稼働日数補正後の対前年同期増減率は 2.8%



注１．　医療費は入院、入院外（調剤含む）、歯科、その他（食事療養、訪問看護）に係るものである。
注２．　健康保険法第3条第2項の日雇特例被保険者及びその被扶養者を除く。
注３．　2026年5月診療分とは2026年7月に受け付けたレセプトに係るものである。

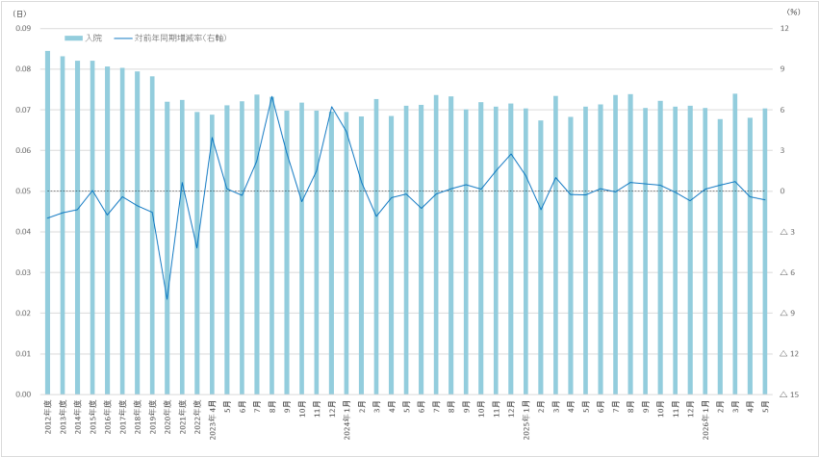
協会けんぽ

○　協会けんぽの医療費の動向

②　加入者１人当たり医療費の２要素分解（入院）

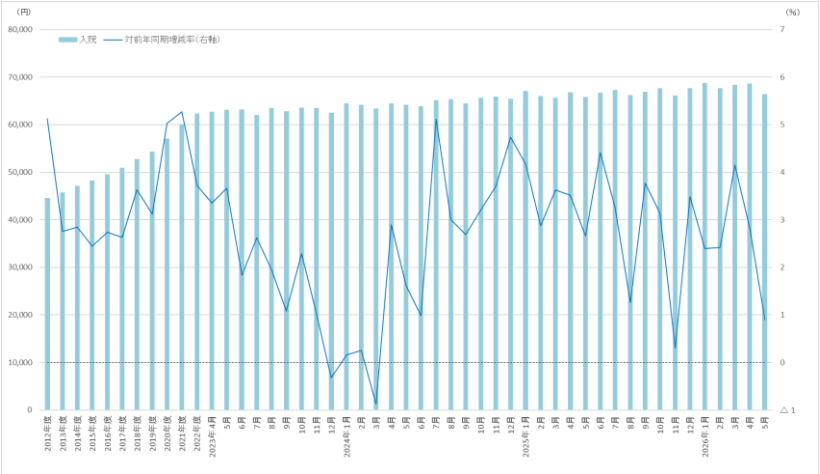
＜加入者１人当たり受診延日数＞

・　2026年５月診療分の加入者１人当たり受診延日数の対前年同月増減率は △0.7%



＜１日当たり医療費＞

・　2026年５月診療分の加入者１日当たり医療費は 66,451円で、対前年同月増減率は 0.9%



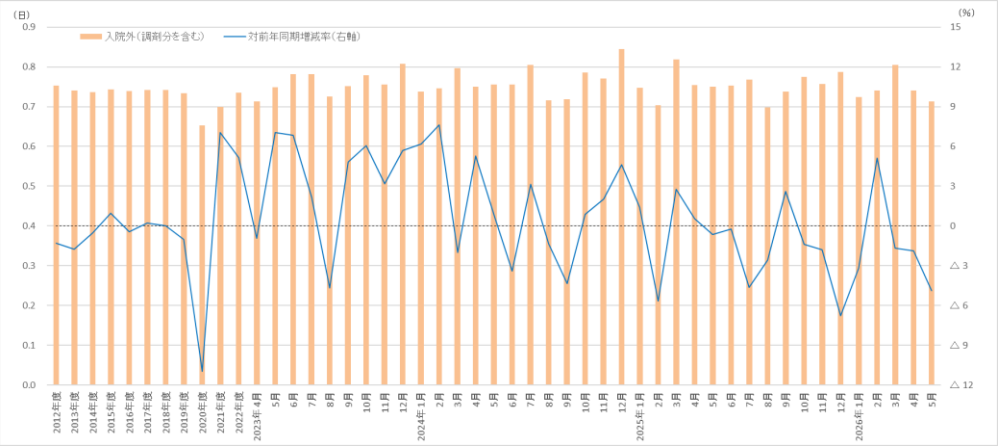
注.　食事療養費は含まない。

○　協会けんぽの医療費の動向

③　加入者１人当たり医療費の２要素分解（入院外）

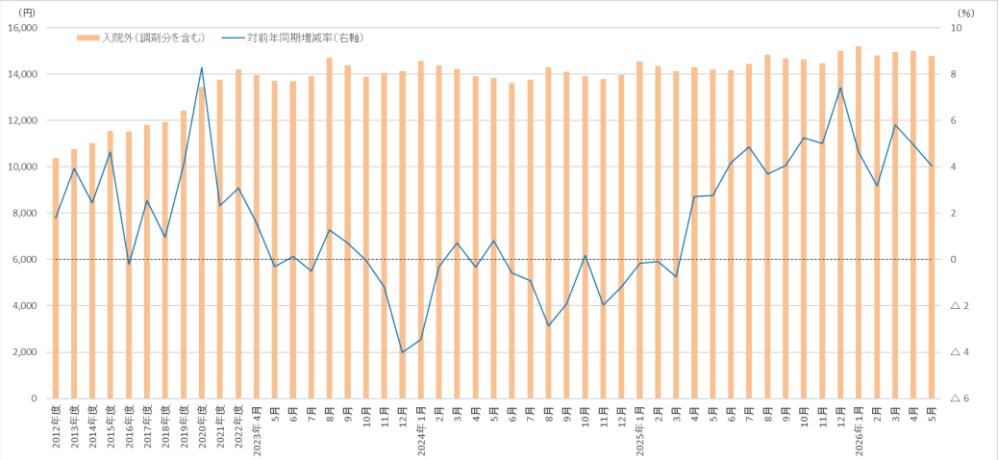
＜加入者１人当たり受診延日数＞

・　2026年５月診療分の加入者１人当たり受診延日数の対前年同月増減率は △4.9%



＜１日当たり医療費＞

・　2026年５月診療分の加入者１日当たり医療費は 14,782 円で、対前年同月増減率は 4.0 %



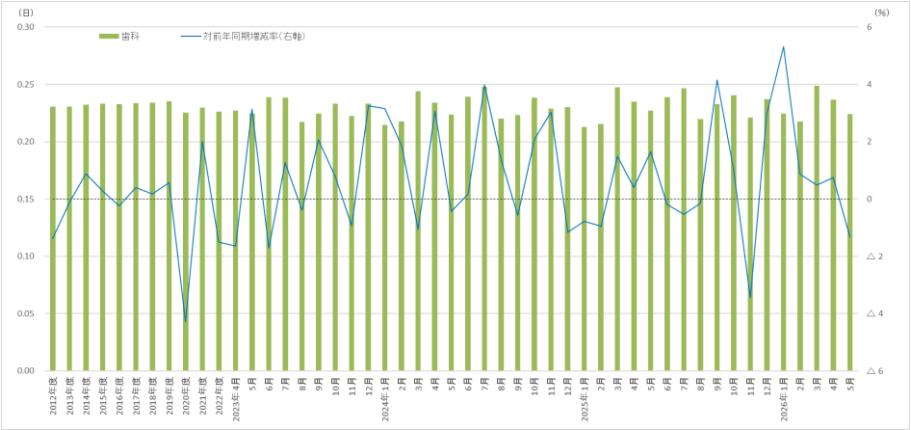
協会けんぽ

○　協会けんぽの医療費の動向

④　加入者１人当たり医療費の２要素分解（歯科）

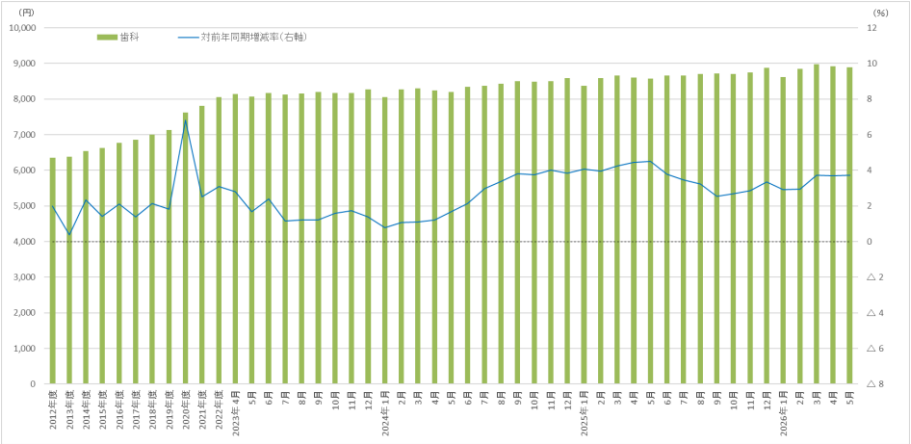
＜加入者１人当たり受診延日数＞

・　2026年５月診療分の加入者１人当たり受診延日数の対前年同月増減率は △1.3%



＜１日当たり医療費＞

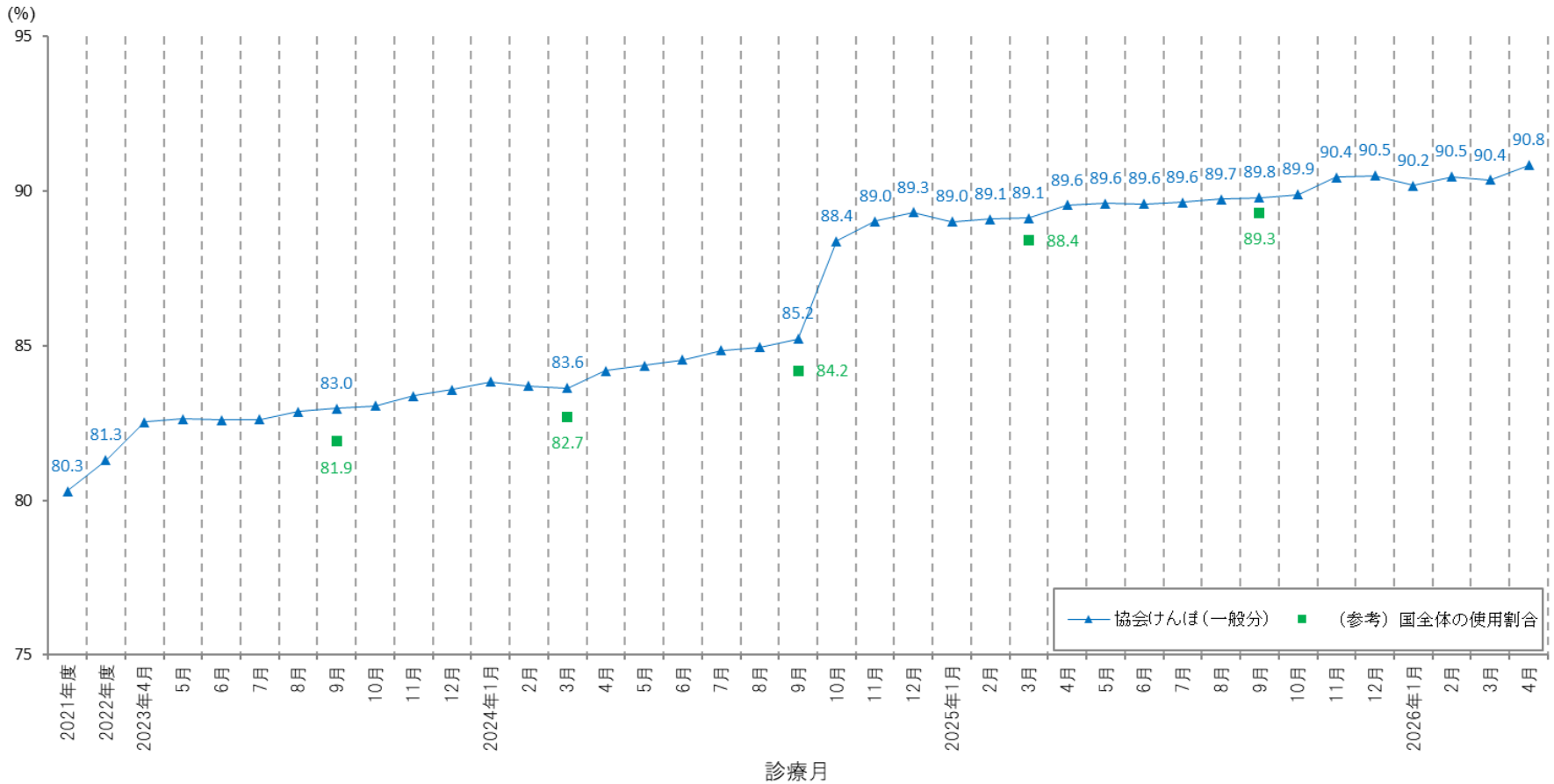
・　2026年５月診療分の加入者１日当たり医療費は 8,888円で、対前年同月増減率は 3.7%



○　ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）

①　数量ベースのジェネリック医薬品使用割合

- 数量ベースのジェネリック医薬品使用割合は、2026年４月診療分で 90.8%
- 前月より 0.5%ポイント上昇し、対前年同月では 1.3%ポイント上昇



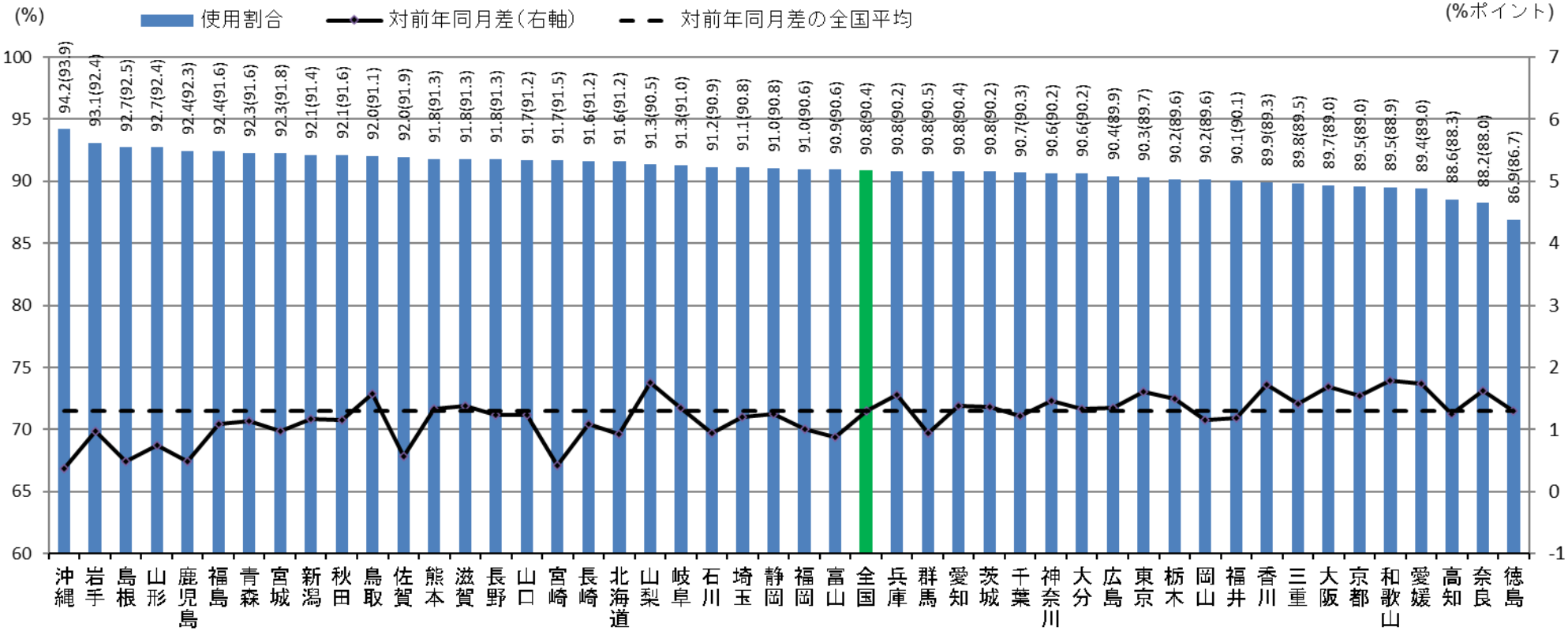
注1．協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）
　　なお、DPCレセプトについては、2025年９月診療分までは出来高払い部分および包括払い部分が集計対象であり、2025年10月診療分からは出来高払い部分のみが集計対象である。
注2．「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
注3．[後発医薬品の数量]／（[後発医薬品のある先発医薬品の数量]＋[後発医薬品の数量]）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
注4．「国全体の使用割合」は「保険者別の後発医薬品の使用割合」（厚生労働省）による。

協会けんぽ

○　ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）

②　数量ベースの都道府県別ジェネリック医薬品使用割合

- 2026年４月診療分の数量ベースのジェネリック医薬品使用割合を都道府県別にみると、
  最も高いのは沖縄の 94.2%で、対前年同月に比べ 0.4%ポイント上昇
  最も低いのは徳島の 86.9%で、対前年同月に比べ 1.3%ポイント上昇
- 2024年９月以降、全支部でジェネリック医薬品使用割合80%を達成



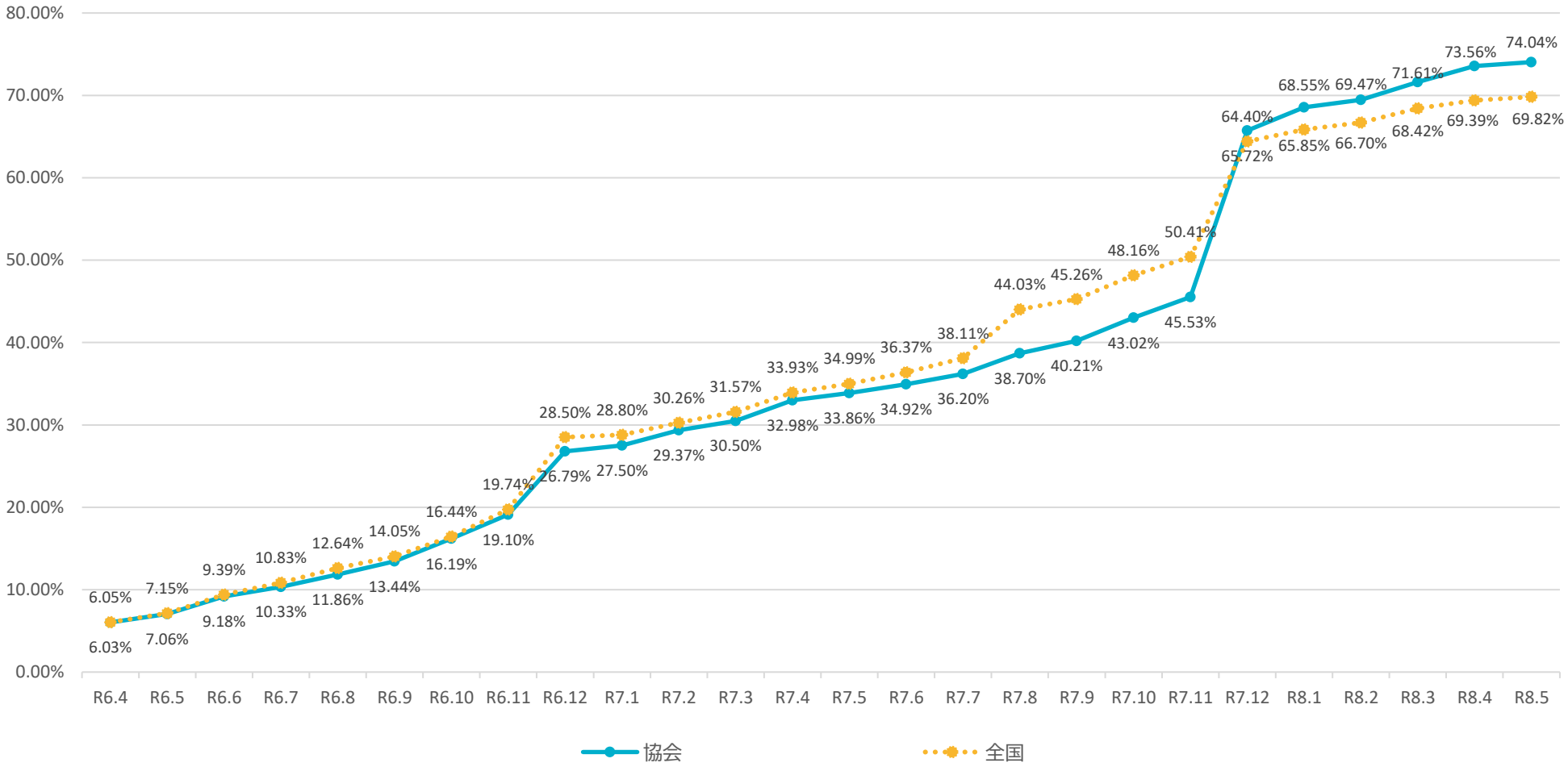
注1. 協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）
　なお、DPCレセプトについては、2025年9月診療分までは出来高払い部分および包括払い部分が集計対象であり、2025年10月診療分からは出来高払い部分のみが集計対象である。
注2.「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
注3. [後発医薬品の数量]／（[後発医薬品のある先発医薬品の数量]＋[後発医薬品の数量]）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
注4. 都道府県は、加入者が適用されている事業所所在地別に集計したものである。
注5. 括弧内の数値は、前月の使用割合である。

協会けんぽ

○　マイナ保険証の利用状況

（マイナ保険証利用状況の推移）

マイナ保険証利用人数／レセプトの発行件数（外来のみ）



従来の健康保険証の有効期限切れに気づかず持参した場合も利用可能としていた取扱いについては、令和8年7月31日で終了

協会けんぽ

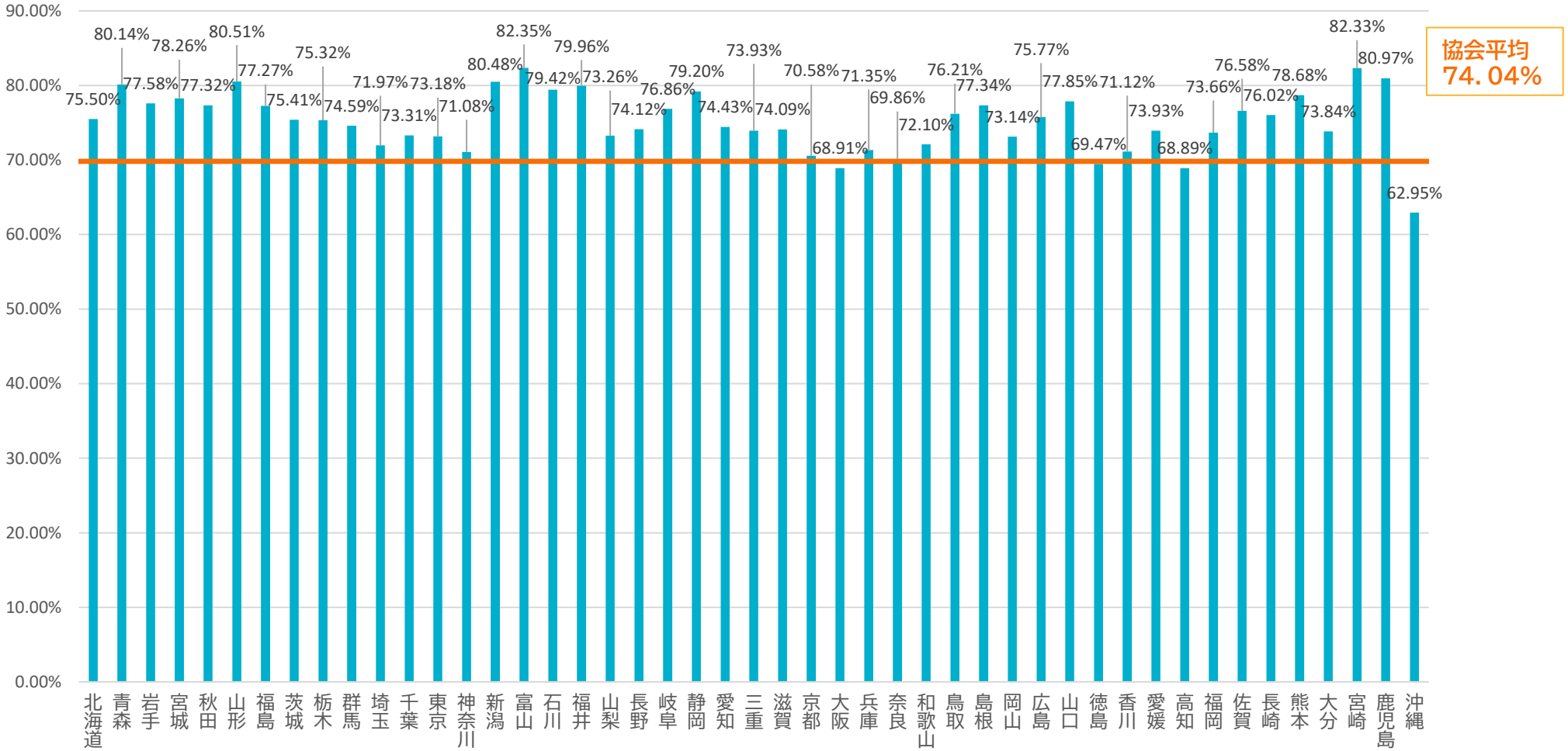
○　マイナ保険証の利用状況

協会におけるマイナ保険証の利用状況（支部別）

※数値は令和8年5月時点

マイナ保険証利用人数／レセプトの発行件数(外来のみ)

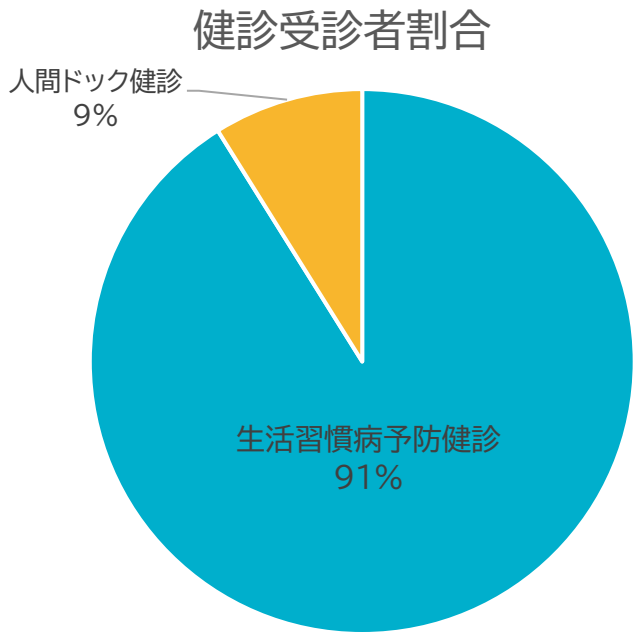
（都道府県支部加入者別マイナ保険証利用率）



協会けんぽ

○　協会けんぽの人間ドックの状況について

○ 令和8年度4月～5月分における人間ドック健診と生活習慣病予防健診の健診受診者数及び割合は以下のとおり。
○ 協会が提供している被保険者（35歳以上の者に限る）に対する健診のうち、約1割が人間ドック健診を利用している。



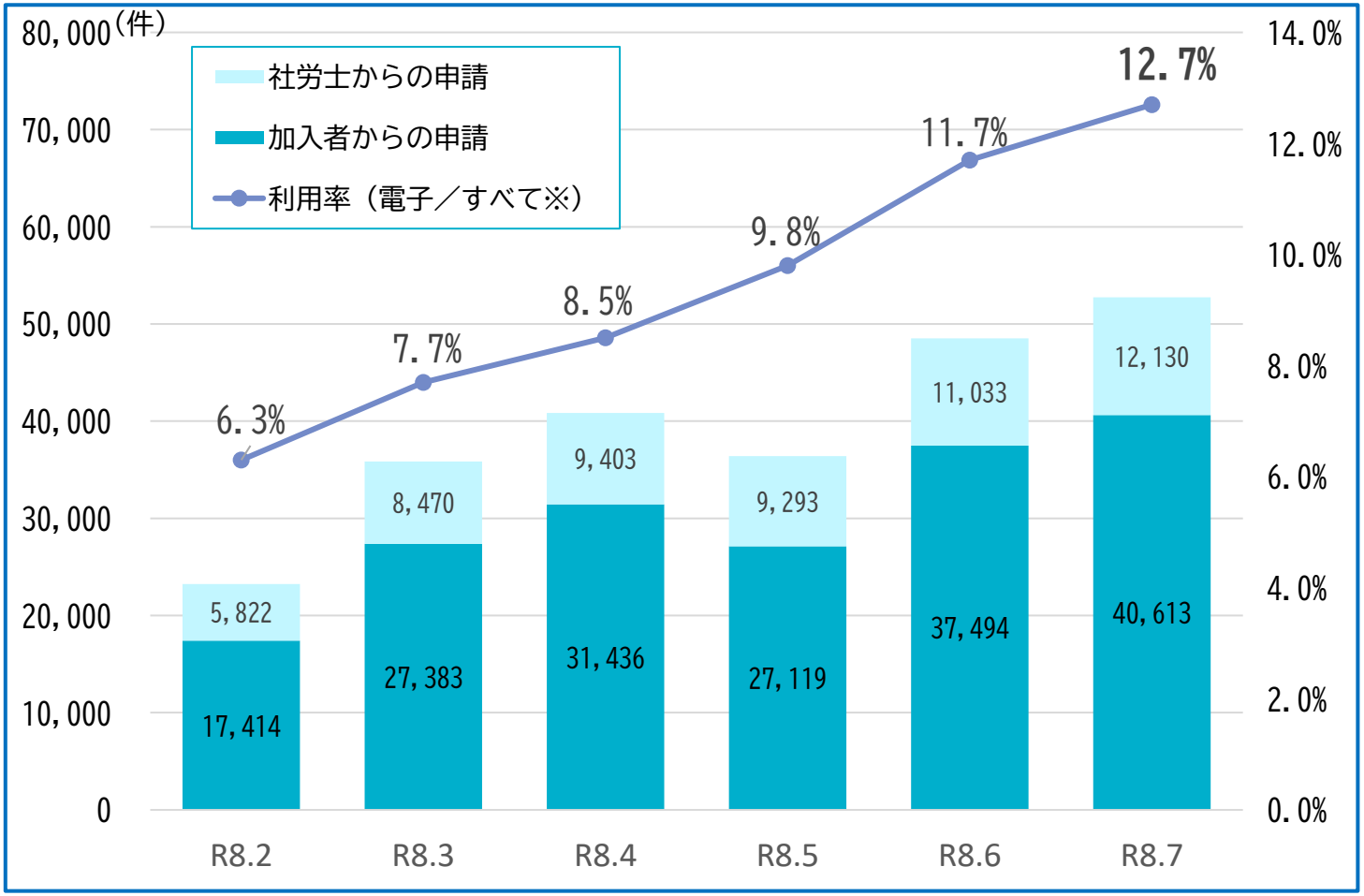
【健診受診者数】

健診種別	令和8年4月	令和8年5月
人間ドック健診	74,383人	58,430人
生活習慣病予防健診	713,581人	646,754人

※令和8年6月末集計時点（今後、健診結果データが追加で収録された場合、受診者数は増加する）

○　電子申請の状況について

○ 令和8年2月～7月分における電子申請の利用状況は以下のとおり。

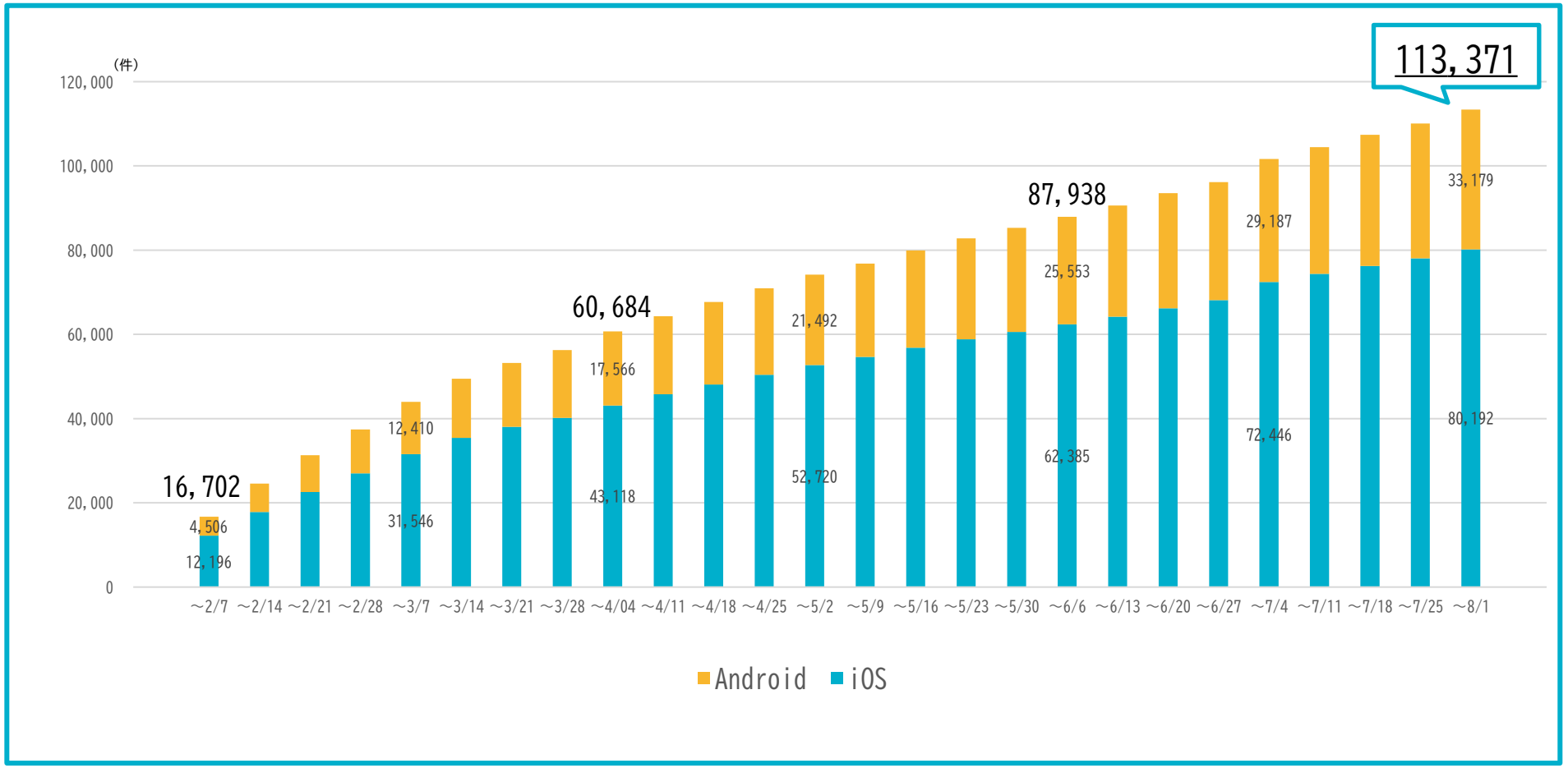


※電子申請対象外の申請書（柔整・あはき療養費等）を除く。

協会けんぽ

○　けんぽアプリの状況について

○ 令和8年7月末までのけんぽアプリのダウンロード数は以下のとおり。



協会けんぽ